

拠出金・基金  
の名称

地雷対策支援信託基金拠出金

種 別

イヤマークのみ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国連PKO局地雷対策サービス部 (UNMAS)

【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局緊急・人道支援課

【当該任意拠出金の目的・用途等】

地雷対策のための支援

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

| 単 位    | 邦 貨<br>(千 円) | 外 貨1<br>(千米ドル) | 外 貨2<br>(千 ) | レ ー ト     | ODA率 (%) |
|--------|--------------|----------------|--------------|-----------|----------|
| 平成29年度 | 1,033,339    | 9,394          |              | 1米ドル=110円 | 100      |
| 平成28年度 | 1,424,107    | 11,868         |              | 1米ドル=120円 | 100      |
| 平成27年度 | 1,692,694    | 15,388         |              | 1米ドル=110円 | 100      |

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

UNMASは「地雷と不発弾の脅威のない世界」という国連のビジョンの実現を目指し、PKO展開地域やアフガニスタン、アフリカ等において地雷対策を担当している。PKO局に位置しながら人道的マンデートも有する特色を生かし、緊急人道支援、平和維持活動、平和構築、治安安定化、開発などの様々な段階における地雷対策支援を実施。昨今の中東情勢などの不安定化をうけ、地雷等の爆発物により2014年から増加傾向にあった犠牲者数は、2017年には前年より2198人減少の7239人を記録している(出典:Landmine Monitor 2018)。しかし、犠牲者数が報告されていない国・地域もあるため、実際の犠牲者の数は上記の数字より多いと言われており、引き続き、国際社会による地雷対策支援が一層求められている。

UNMASは、2017年にはアフガニスタン、コロンビア、コンゴ(民)、イラク、リビア、パレスチナ、ソマリア、南スーダン、スーダン、シリア、西サハラ等で地雷対策支援を実施し、成果を上げている。

我が国も人間の安全保障の観点から、また平和の構築、持続に貢献するものとして、その活動を高く評価。UNMASは地雷分野での存在感が大きく、我が国がトップドナーであることの国際社会に対する広報効果は大きい。

なお、UNMASは、本部を小規模に維持し、フィールドにおいては、現地雇用の創出に努める等努力しているとともに、邦人職員の採用を積極的に行っている。

また、財務担当官以外に地雷対策支援信託基金(VTF)専門の担当官を採用し、事業管理をオンライン化するなどVTFの管理強化を図り、拠出金の有効活用に努めている。加えて、モニタリングと評価に関する内部システムの強化を実施しており、事業管理と評価においてさらなる改善が見込まれる。

【備考】